

ボランティアで県民カレッジ認定

青森県生涯学習フェア2014

青森県生涯学習フェア2014が、10月18日(土)に県総合社会教育センターで行われ、町の静和園や内湯療護園などで福祉ボランティアを続けている「めんだりカッチャの会」(会長・葛西美奈子)のメンバー32人と子どもカレッジ3人(いずれも武田小)が認定されました。今年は1人1人に名前入りのメダルが授与され、メンバーのみなさんは「良い記念になった。これからがんばっていききたい」と喜んでいました。



今シーズンは無限会が優勝

小泊ナイター野球閉会式

小泊ナイター野球が閉幕し、11月7日(金)に閉会式が行われ、参加した3チームが集まりました。6月9日から10月8日まで争った今シーズンは、無限会が優勝しました。閉会式中の個人タイトルの発表では、MVPをはじめ、打者部門、投手部門の成績優秀者が読み上げられ、受賞選手たちは拍手で祝福されていました。

※各賞受賞者の紹介()内はチーム名、(無)無限会、(メ)メッツ、(イ)イカーズ

■最優秀選手賞…伊藤芳伸(無) / ■優秀選手賞…佐々木健一(無)、小野真樹志(メ)、小林満(イ) / ■首位打者・打点王・新人王…武田響(メ) / ■ホームラン王…小林裕史(イ)、小林聖矢(イ) / ■最多勝利投手賞・奪三振1位…大川幸世(メ) / ■防御率1位…小林満

振る舞いと芸能で参加

津軽半島大集合2014

津軽半島北部地域観光推進実行委員会(会長・藤岡西北五地域県民局長)が、北海道新幹線の開業、奥津軽いまべつ駅などを広くPRしようと津軽半島大集合2014を開催しました。

イベントは11月8日(土)、9日(日)に開催され、津軽半島10市町村が参加し、振る舞いや出店コーナーでご当地グルメを、ステージでは郷土芸能を披露し、それぞれ津軽半島をPRしました。

当町からは初日に小泊婦人会が「徐福汁」を振る舞いました。

2日目は、中里なにもさき保存会がなにもさき踊りを、網おこし保存会が囃子をそれぞれ披露し盛り上げました。



地域の安全を祈り

第8分団小型動力ポンプ付積載車入魂式

町消防団第8分団が、11月23日(日)屯所車庫で、老朽化のため更新した小型動力ポンプ付積載車の入魂式を行いました。

式には、小野町長、長利消防団長ら関係者約30人が出席し、新規車両の入魂式を見守りました。式を終え、山本金美第8分団長は「新車両が入り、今後とも地域のため、さらに防災活動に努めたい」と話していました。

世代間交流を楽しむ

子ども会育成連合会がハロウィンパーティー

町 子ども会育成連合会が、11月9日(日)日本海漁火センターで恒例のハロウィンパーティーを行いました。

今年、同連合会の会員40人と北光寿大学の25人が参加して、お菓子づくり、ハロウィンの壁掛けづくり、ハロウィングーム、仮装コンテスト、紙飛行機づくりを行いました。昼食をはさんでから、つくった紙飛行機飛ばし、ジャンケン絵合わせゲームなどで世代間交流を楽しみました。参加した寿大学生からは「子どもたちとふれあえて昔を思い出しながら楽しんだ。また来年も参加し、交流を深めたい」と話していました。



暮らしに役立つ税金

中里中1年下山さんが優秀作品

全 国納税貯蓄組合連合会と国税庁は、子どもたちの租税教育推進の一環として、中学生の「税についての作文」の募集を実施しました。募集には、全国から7,422校、615,230作品の応募があり、五所川原税務署管内では、優秀作品として2人の生徒が受賞しました。

当町からは、中里中学校1年・下山諒夏さんが見事に選ばれました。11月12日(水)に佐藤弘一五所川原税務署長が中里中学校を訪問し、全校集会で表彰式が行われました。受賞した下山さんは「今回の作文で税金は身の回りで役に立っているんだと感じました。受賞できて嬉しい」と喜んでいました。

かわいい子どもたちが慰問

■小泊保育所児童が福祉センターで利用者と交流

小 泊保育所児童が、10月13日(月)小泊福祉センターを訪問し、お遊戯会での演目を披露しました。利用者みなさんは、子どもたちの遊戯や歌に大きな拍手をおくっていました。

■中里幼稚園、富野保育所、薄市保育所が役場訪問

勤 労感謝の日を前に中里幼稚園園児7人が、11月13日(水)役場を訪問しました。子どもたちは「毎日のお仕事ご苦労さまです」とあいさつし、出迎えた職員たちはかわいい子どもたちに拍手をおくりました。園児たちは、赤十字の募金、カレンダー、お花、餅つき会でついた餅、歌などをプレゼントしました。これを受けて小野町長が「いつもありがとう。私たちもみなさんから元気をいただいております。来年みなさんは小学生ですね。がんばってください」と激励しました。また、11月18日(火)には、富野保育所と薄市保育所の子どもたちが役場を訪れ、手づくりカレンダー、お花、歌などのプレゼントをおくりました。

■中里保育所が中里駐在所を慰問

中 里保育所児童18人が11月20日(木)中里駐在所を訪れました。児童たちは「おまわりさん、いつもみんなの安全を守ってくれてありがとう」と声を合わせて感謝の言葉を伝えました。また歌のプレゼントでは、阿部所長も一緒に踊りながら歌って楽しみました。最後に所長から「みなさん今日はありがとう。みなさんが交通事故に遭わないように先生やお家の人たちの言うことをきくようにね」と約束しました。



漁港をテーマに学習会

小泊小5年が漁港の役割を学ぶ

小泊海域漁港漁場環境公共推進協議会(会長・佐藤博)が、10月28日(火)下前漁港などを会場に小泊小5年生21人を招き、漁港の学習会を開催しました。

学習会は、魚の観察から始まり、下前漁港荷揚げ場に集まった小学生が生きたイカ、タコ、アワビ、サザエに手で触れる体験をしました。なかでも活イカは捕まえると水を吹きだし、水をかけられる子どもたちも多く、イカの元気に驚いていました。また、中間育成されたメバルの稚魚への餌やりを体験しました。続いて、すくすくしたまえ館に移動し、西北地方漁港漁場事務所職員から「漁港のおはなし」として、役割や規模などを学びました。最後は、漁港の工事を担当する齋勝建設(株)職員から防波堤の作り方の説明を受けました。



ブリやフグの大きさに驚く

中里小5年生が漁業などを学ぶ

中里小5年生30人が、11月21日(金)小泊地域でふるさと学習を行いました。はじめに水産観光課職員から小泊地域で水揚げされる魚の種類、漁法などを学びました。続いて小泊漁協施設に移動し、荷揚げの様子やブリやフグ、珍しい深海魚などこの日水揚げされた魚の紹介を漁協職員から受けました。津軽の像記念館では、ビデオ鑑賞や柳澤良知氏の説明を受けました。最後は、下前漁協施設へ移動し、中間育成しているメバルやソイの幼魚に餌やりを体験しました。

スルメイカ加工体験

道の駅こどもり「ポントマリ」で秋の味覚まつり

竜泊ラインの冬の通行止めが近づく11月1日(土)、道の駅こどもり「ポントマリ」で秋の味覚まつりが開催されました。

まつりでは、スルメイカの加工体験のほか、感謝セールとしてお買得な日となりました。体験コーナーでは、一夜干し焼きイカ体験、のしかづくりが行われ、ローラで伸びるイカに驚いていました。また、小泊漁協婦人部のみなさんによるじゃっぱ汁や海鮮お好み焼きの振る舞いもあり、来場者が喜んでいました。道の駅こどもりは、4月下旬まで冬期休業に入ります。



今年も2人が資格取得へ

防除用ヘリオペレーター講習

上豊岡地区水田で11月19日(水)、防除用ヘリオペレーター講習が行われました。

この日は、町内から館山潤也さん(深郷田下)、坂本讓太さん(田茂木)の2人が参加しました。水田に立てられた旗を基準に旋回など、指導員の指示に従いながらオペレーター技能認定のための操作訓練を受けていました。2人は、筆記試験や実技試験を受け、認定されると来年にはヘリオペレーターとして防除作業に参加することになります。

